

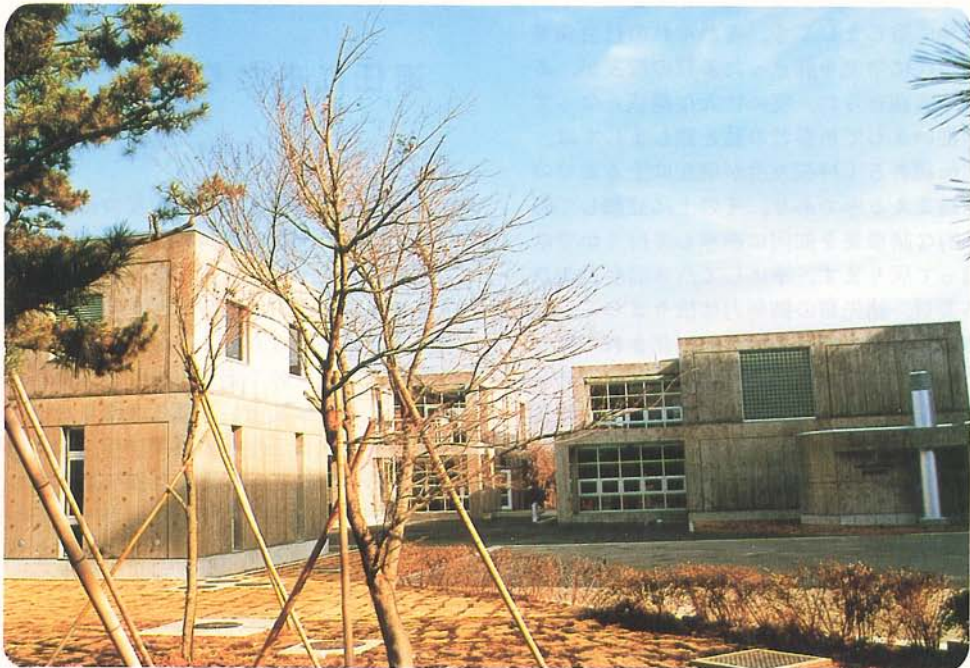
桜工

日本大学工科校友会

No. 67 1985

目 次

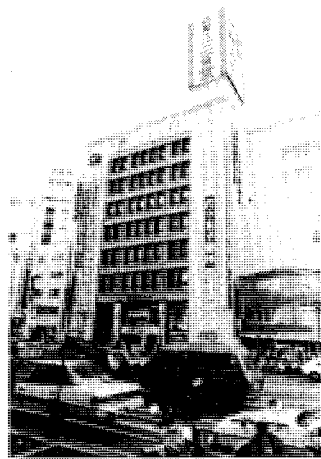
会長就任の御挨拶	2
退任にあたり	2
《特集・変貌するキャンパス周辺（その2）》	3
駿河台の昔と今	3
ある出来事の思い出	4
習志野校舎開設の頃	5
駿河台界限点描	7
部会だより	9～10
土木・建築・機械	9～10
〃	電気・工化・薬学 10～12
〃	物理・数学・交通 13～14
〃	精密・海建・航宇・電子 14～16
地方支部だより	16～17
北海道・秋田県・山形県	16～17
〃	長野県・群馬県・埼玉県 18～19
〃	大阪府・岐阜県・奈良県 19～20
〃	島根県・愛媛県 21
〃	長崎県・沖縄県 22
地域支部だより	23～24
東京都水道局桜水会・桜都会	23～24
〃	東京都建設桜工会 24
〃	国鉄、鉄道公園桜友会・清水建設桜門会 24～25
本会関係記事	25
正会員終身会費59年度納入者	26
地方支部職域支部一覧表	27～28



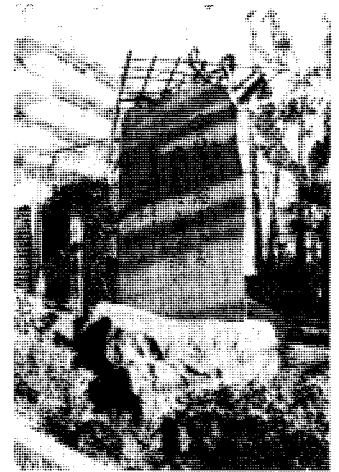
理工学研究所機械実習所（昭和59年11月）

■ 駿河台界隈点描

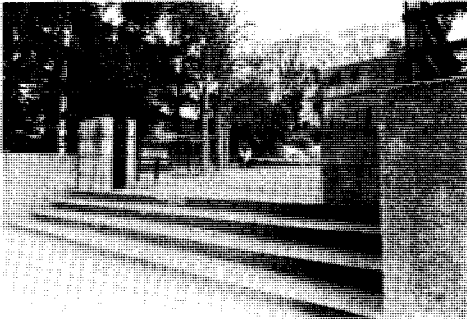
七木工学科教授 栗津 清蔵



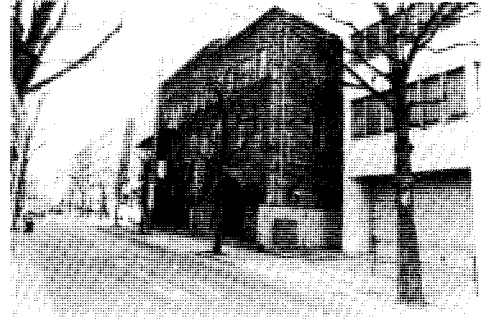
三省堂



夏目漱石



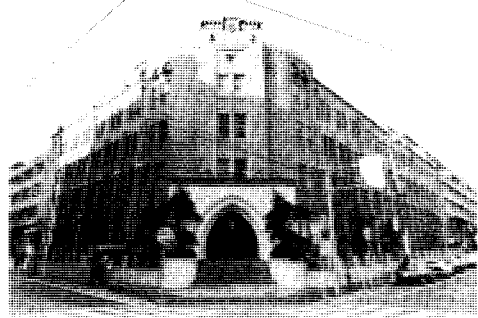
錦華公園



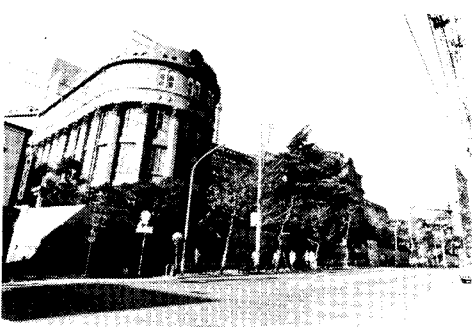
文化学院



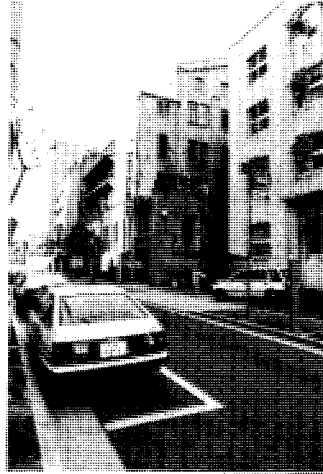
お茶の水駅前



理工学部1号館



明治大学



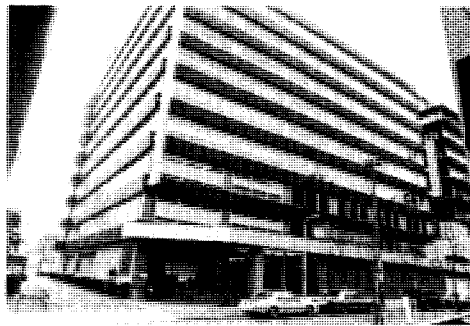
YWCA



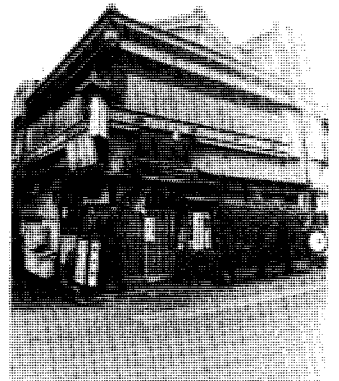
日立



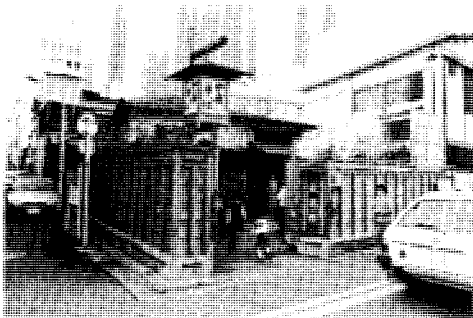
大正海上



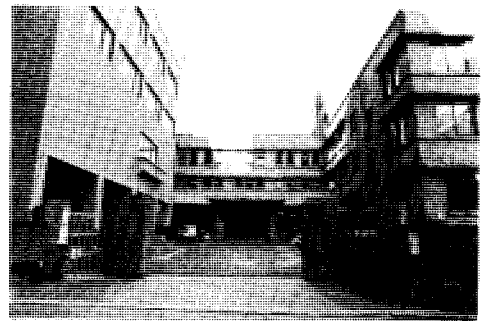
主婦の友ビル



いせ源



やぶそば



名倉病院

◎日本大学工科校友会会誌委員

委員長 佐川 廣司 (機械)
副委員長 藤田 幹 (建築)
副委員長 長江 啓泰 (機械)
委員 木村 吉巳 (土木)
委員 近藤 勉 (土木)
委員 伊藤 堅 (機械)

委員 富岡 義隆 (電気)
委員 南山 齋 (工化)
委員 越智 健二 (工化)
委員 岡村 信 (薬学)
委員 青木 正忠 (薬学)
委員 小西 和夫 (交通)

委員 清岡 進 (精機)
委員 野木 靖之 (物理)
委員 川岸 正樹 (数学)
委員 綱野 敬司 (海建)
委員 谷口 重範 (海建)

編集後記

役員改選で会誌委員も大幅に交替しました。初仕事も時間に追われ不安な毎日でしたが、前委員のご指導、数多くのご寄稿により、何とか期日に間に合いました。

変貌するキャンパス周辺も、今回より習志野に移り、キャンパス開設時の話題へと進みました。本号より以降は郵送の関係で、変形B5判となります。ご協力を願います。

昭和60年3月25日発行

発行所 日本大学工科校友会

編集・発行者 佐川 廣 司

東京都千代田区神田駿河台1-8

電話 03-293-3251 内線 206

振替 東京 3-162710

印刷所 有限会社 ムサシノ 総合印刷